

なんこく 市議会だより

No. 96

令和3年(2021年)2月号

主 な 内 容

《12月定例市議会》……………P2～4

概要、副議長選挙、市政報告、
主な可決議案

《11月臨時市議会》……………P4

主な可決議案

《各委員会委員の決定》……………P5

常任委員会・議会運営委員会

《12月議会一般質問》……………P6～14

《議決結果一覧》……………15

《なんこく歳時季 巻14》……………P16
・PRキャラクター「シャモ番長」

◆ 表紙写真 ◆

南国市のPRにと、市内在住の
山田高校生5人が考案した「シャ
モ番長」。関係者出席の下、1月
7日にキャラクターの譲渡式、お
披露目が行われました。
(16ページにも紹介記事)



発行／南国市議会

E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会

南国市大堀甲2301

TEL 088-880-6570

FAX 088-864-3281



第419回

12月定例市議会

一般会計補正予算5億9,583万円の増額

職員定数を見直し、圃場整備事業や都市再生整備
計画事業等の推進を図る

第419回定例市議会は、12月4日から17日までの14日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提案の議案24件、報告2件、意見書6件の審議が行われ、全議案を可決・同意し、意見書4件を可決しました。また、9月定例市議会から継続審査の令和元年度の決算議案10件を認定しました。



◆ 12月定例市議会 概要 ◆

12月定例議会初日、今西忠良議員が副議長を辞職されたことにより、副議長選挙が行われ、投票の結果、新たな副議長として浜田和子議員が選出されました。

続いて、9月議会において継続審査となっていた令和元年度の決算議案10件について、所管の常任委員会よりいずれの議案も認定とする委員長報告があり、採決において全議案が認定となりました。

その後、各常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、新たな委員の選任が行われました。(5ページ参照)
委員選任後、市長より市政報告(次ページ)があり、その後、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されま

した。

8日から11日までの4日間は、15名の議員から、新型コロナウイルス対策、防災、教育

などについて、市長や教育長、関係課長へ一般質問が行われました。

14日は提出議案への質疑と人事案件1件の採決が行われ、人事案件を同意し、残余議案が所管の常任委員会へ付託されました。

15日には各常任委員会で付託議案等を審査しました。

17日の閉会日には、

各常任委員長から審査結果の報告があり、採決では、全議案が原案のとおり可決となりました。

同日には、議員から6件の意見書が提出され、「介護報酬の引上げ、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険制度の抜本改善を求める意見書」、「不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書」、「住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書」、「国の「持続化給付金」の

制度継続を求める意見書」を全会一致で可決しました。また、「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教育の質を保障するために教職員の長時間過重労働解消を求める意見書」、「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」を賛成少数で否決し、閉会しました。

(議決結果一覧は15ページ参照)

◆ 副議長選挙 ◆

— 新副議長に浜田和子議員 —



浜田和子副議長

■ 副議長選挙結果

浜田和子 (16票)
福田佐和子 (4票)

◆ 浜田和子副議長挨拶 ◆

議長に様々なことを教わりながら、しっかりと議長を補佐していける力をつけていきたいと思いますので、御支援・ご協力をお願いいたします。

◆12月定例市議会 市政報告◆

国においては、感染症の影響により落ち込んだ個人消費の回復が

目指されていますが、11月18日には国内の新規感染者数が1日当たり2千人を超えるなど、感染拡大の防止と経済回復の両立について難しい局面が続いています。

本市においても、感染症の拡大には細心の注意を払うとともに、厳しい状況にある家庭や事業者への必要な支

援をしっかりと実施した上、市民の暮らしと安全を第一に、地域経済の回復に向けた取組を推進してまいりたいと考えています。

12月1日から販売及び使用開始となった南国市商工会が実施する南国市プレミアム付商品券発行事業については、券面額の5割を市民の皆様へのプレミアムとして市が支援し、市内経済の回復を図ってまいります。

◆12月定例市議会 主な可決議案◆

議案第1号

一般会計補正予算
補正予算の規模は、5億9583万8千円の増額計上。
主な歳出は次の通り。
▽総務費関係／ふるさと応援基金積立金、ふるさと寄附金事業費

◆第418回 11月臨時市議会◆

(11月24日)

◇主な可決議案◇

(議決結果は15ページ)

議案第1号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第2号

市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

議案第3号

市長等に対する給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例

再任用職員を除く一般職の職員、市議会議員、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給額を年間で0.05月分引き下げることから、上記3つの条例の一部を改正するものです。

議案第4号

児童生徒教師用パソコン購入契約の変更について

オンラインによる授業環境整備を加速させる必要から、令和4年度までに購入する計画であった小学1～3年生の児童用パソコンを1,060台購入するため、児童生徒教師用パソコン購入契約を、4,625万5,220円増額するものです。

▽民生費関係／障害者自立支援給付事業費、民営保育所等費、認定こども園事業費、地域型保育事業費、公立保育所費、長岡西部保育所改築事業費

▽教育費関係／大篠小プール改修工事等に係る小学校管理費

議案第11号

市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例

▽農林水産業費関係／高知南国地区国営緊急農地再編整備事業基金積立金

▽消防費関係／災害対応特殊救急自動車購入等に係る公用車管理費

議案第13号

新規就農者等サポートハウス減額貸付条例

施設園芸農業により自立就農する者を支援するため、本市が所有する園芸用ハウス等を時価よりも低い価格で貸し付けることから、本条例を制定するものです。

を一層進めていくため、職員定数を増やすもので、職員定数を見直すために本条例の一部を改正するものです。

議案第20号

行政不服審査会条例を廃止する条例

令和3年4月1日から行政不服審査会の事務を高知県に委託する予定であることから、本条例を廃止するものです。

議案第19号

職員定数条例の一部を改正する条例

国営圃場整備事業及び都市再生整備計画事業の推進、水道施設の計画・更新及び耐震化

常任委員会（総務、産業建設、教育民生）、議会運営委員会の 新しい委員が決まりました（◎…委員長、○…副委員長）

総 務 常任委員会

総務、財政、企画、税務、
危機管理、消防、他の常任委
員会の所管に属さない事項
【任期1年、7名】



◎西山明彦
無所属
(大堀甲)



○杉本 理
日本共産党
(片山)



岩松永治
無所属
(久礼田)



土居恒夫
無所属
(十市)



岡崎純男
無所属
(福船)



野村新作
無所属
(篠原)



今西忠良
社民党
(久礼田)

産業建設 常任委員会

農林水産、農業委員会、建設、
都市整備、商工観光、上下水道
に関する事項
【任期1年、7名】



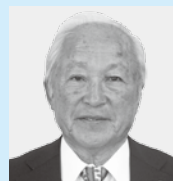
◎西本良平
無所属
(成合)



○福田佐和子
日本共産党
(大堀甲)



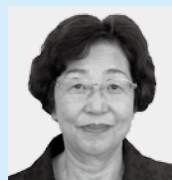
丁野美香
無所属
(緑ヶ丘)



浜田憲雄
無所属
(浜改田)



西川 潔
無所属
(岡豊町)



浜田和子
公明党
(大堀甲)



土居篤男
日本共産党
(十市)

◇ 議会運営委員会 【任期1年、10名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・
委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮
問に関する事項及び議案・陳情等を審査。

◎委員長／前田学浩

○副委員長／村田敦子

委 員／西山明彦、神崎隆代、植田豊、
浜田憲雄、有沢芳郎、中山研心、
岡崎純男、土居篤男



教育民生 常任委員会

教育委員会、福祉、保健、民生、
環境に関する事項
【任期1年、7名】



◎神崎隆代
公明党
(日吉町)



○中山研心
立憲民主党
(元町)



植田 豊
無所属
(岡豊町)



山中良成
無所属
(大堀甲)



有沢芳郎
無所属
(田村)



前田学浩
無所属
(稲生)



村田敦子
日本共産党
(東崎)

執行部に問う

一般質問



南国市議会 YouTube
これまでの議会中継も
ご覧になれます

12月議会では、感染症対策・圃場整備・防災・教育など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約して紹介します。

◇12月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

- 1 西本良平** ①国営圃場整備事業について②道の駅南国風良里について③防災対策について
- 2 西山明彦** ①市長の政治姿勢(令和3年度予算編成、職員の資質向上・意識改革、定員管理)②子育て支援・少子化対策(保育行政、不妊治療)③大型プロジェクト事業(仮称)中央地域交流センター、新図書館
- 3 神崎隆代** ①住宅行政(連帯保証人の削除、家賃滞納対策)②にじいろのまち宣言③子どものインフルエンザ予防接種の助成④行政手続の簡素化(お悔やみ窓口、高額療養費、押印廃止と書面主義の見直し)
- 4 村田敦子** ①国保について②子どものインフルエンザ予防接種を無料に③就学援助について④介護行政(2021年度からの8期の内容、ライフサポーター、認知症サポーター養成状況)
- 5 西川潔** ①市長の政治姿勢(調整区域の規制緩和、中間対策など就任時の公約について、市北部地域の活性化策、来期への抱負)②集落土木委員の役割と身分③農地法3条下限面積の緩和
- 6 今西忠良** ①平山市政の3年4か月、2期目への挑戦・抱負②2021年当初予算、財政運営と市民生活の向上③シニア世代の雇用と働き方、移住促進対策④児童生徒の健康教育と生活習慣(学校給食)
- 7 丁野美香** ①産後サポートとして訪問型の利用②産後ケア事業③産後鬱の支援④聴覚障害者の方の避難⑤消防署員の手話対策
- 8 山中良成** ①圃場整備(発掘調査問題と計画(1)マスタープランとの整合性(2)完了後の計画と出口戦略(3)市長の考えるスマート農業(4)50歳以上の就農者に補助金を②日章工業団地(水路管理、地元との合意形成)
- 9 植田豊** ①応急仮設住宅(ムービングハウス)②傾斜警報監視システム③住宅用火災報知器
- 10 浜田憲雄** ①スポーツツーリズム(市の取組・県サッカー協会から提出されたフットボールセンター整備要望への対応)②防災・減災対策③公営施設の管理(前浜公民館の鳥フン害対策・掩体群の管理)
- 11 福田佐和子** ①市長の政治姿勢(コロナ対策、女性幹部の登用、デジタル行政)②教育行政(いじめ対応支援員、20人学級、食育)③保育行政(0歳児保育、職員増)④高齢者憲章に基づく医療介護の安心を
- 12 浜田和子** ①保育行政について(交付金、保育士養成貸付金制度)②災害対応について(マンホールトイレ、非常用飲料水袋)③市街化調整区域の開発許可制度の波及について
- 13 杉本理** ①市長の政治姿勢②青年・学生へのさらなる支援を③LGBT④南国市空家等対策計画について⑤市立学校教員年間変形労働時間制について
- 14 前田学浩** ①環境行政(ごみの分別・ヤスデの異常発生・ごみ袋の価格)②避難所(県内でも最大規模の長期浸水が予想されている稲生地区の避難所整備)③読み書きICT
- 15 土居篤男** ①コロナ不況から業者を守れ②コロナ不況による失業者への経済的支援を求める③大学生のアルバイト失職で飢えを出す④ものづくりサポーターセンターの具体的活動を明確に示せ

西本良平 議員



国営圃場

整備事業について

問 本事業の目的と事業の概要を問う。

答 耕作放棄地の解消と発生防止、高収益作物栽培による稼げる農業の実現を目的としている。農地の区画整理は、市内15の団地合計で522ヘクタール、稲生団地の農業用排水事業を合わせた受益面積は526ヘクタールとなっている。

問 事業完了後の準備として担い手の育成について問う。

答 新規就農の方へは、研修時の支援をはじめ、研修後も県、市、JA、指導農業者と連携し、きめ細やかなフォローができるよう取り組んでいる。

でいる。また、企業等の農業参入にもターゲットを広げながら、新たな担い手づくりに取り組んでいる。

問 企業との連携による6次化対策を問う。

答 農業振興地域整備計画、農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の中に具体的に盛り込んでいく。特に、基本構想では、担い手対策や営農類型等についても、将来的に進めていく方向性について網羅できるように策定をしていく。

防災対策について

問 物部川の氾濫に対する避難所の新設・見直しは。

答 現在、浸水区域外の事前開設避難所の追加開設を検討しており、鳶ヶ池中学校を候補施設としている。

問 避難訓練の計画や避難行動において要支援者の個別計画の作成

について聞く。

答 洪水災害のリスクの高い日章地区を中心に取組を進め、今年度末までには、個別計画の避難行動編を作成する予定だ。

問 土砂災害特別警戒区域指定公示の意図は。

答 土砂災害が発生するおそれのある区域をあらかじめ明らかにし、適切な避難行動や事前の備えを進めるための警戒区域指定が行えることになった。

問 中山間地のダメージ、活性化策を問う。

答 土砂災害特別警戒区域に指定されると、地域外へ出ていく方もいるかと考えている。中山間地域に住み続けていただくためには、引き続き生活用水や移動手段の確保などにより生活を支え、ソフト対策として危険の周知、警戒避難体制の整備等を徹底していきたい。

西山明彦 議員



子育て支援・

少子化対策

問 兄弟が同じ保育施設に入所できるよう、判定する調整指数を見直せないか。

答 同じ教育保育施設を利用できない状態を解消する必要は感じているので、調整指数を見直していきたい。

問 入所児童が減少している公立保育所について、乳児室の施設改修をしようか。

答 公立保育所において保育室が不足しているため、4、5歳児の混合保育やホールを利用して保育を行っている現状があるので、既存の保育室を改修しての乳児施設の増設は難しいと考えている。

問 明見保育所の増築の進捗状況を問う。

答 現在、購入を計画している用地については、地権者や代替農地の地権者などとお会いし、購入の意向を伝えられているところだ。

問 不妊治療への市の助成拡充を求める。

答 現在のところ市独自の支援策拡充は考えていないが、国は今年度中にも助成制度を拡充する方針なので、国の制度拡充に合わせて市の制度を見直す必要があると考えている。

大型事業

問 (仮称)中央地域交流センターの駐車場の整備状況を問う。大篠公民館の解体工事開始に間に合うのか。

答 市道体育館西線沿いで用地を確保して、そこに80〜100台程度の駐車場を整備したいと考えている。現在は測量造成設計、事業

認定申請書作成等の業務を行っている。大篠公民館撤去解体工事の際には、またそこを囲うので、それまでには整備したい。

問 新図書館建設の取組状況を問う。国庫補助金の期限に間に合うのか。進捗が遅れているが、計画変更も必要ではないか。

答 新型コロナウイルス等の関係もあり、住民参加のワークショップ等の開催には至っていない。また、用地取得も難航しており、境界立会、用地の測量に伴う確定、土地鑑定評価も未実施である。国土交通省には工程の1年延長を願い出ており、許可されると、令和2年度予算の大部分を1回減額して、3年度に再度計上することになるかと思う。

神崎隆代 議員



子どものインフル
エンザ予防接種

問 コロナ禍において

高知市は子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成を開始したが、本市の対応は。以前に費用助成を提案した頃とは状況が異なる。子育て支援の一環として再度、助成を求める。早い対応を願う。

答 高知市は、季節性インフルエンザの発症を抑えて、医療機関を受診する機会を減少させる目的ということで、

高知市でのコロナ感染症患者が急増していることから見ると、大変有効な事業と考える。

これから新型コロナウイルスのワクチン投与も始まって、4万7

千人の南国市民が対象となり、それに向けた動きも必要となる。その中でインフルエンザ予防接種が実施できるのか慎重に考えないといけないが、インフルエンザ予防接種の一部補助については前向きに検討したい。



にじいろのまち宣言

問 にじいろのまち宣言やパートナーシップ

制度創設についての所見は。

答 多様な性の在り方への理解を深めることは重要だと認識している。にじいろのまち宣言と同種の宣言やパートナーシップ制度の創設は、南国市人権教育

研究協議会や南国市男

女共同参画推進会等で議論いただくほか、関係団体との意見交換を行っていききたい。

問 学校でもLGBT

の知識や理解を促す必要があるが所見を問う。

答 市内小中学校では、

LGBTに関する学習を教育課程に位置づけ、発達段階に応じた学習に取り組んでいる。正しい人権感覚が身につくように今後も取り組んでいきたい。

問 宣言が意識を変え

る第一歩となる。市でもLGBT支援にしっかりと取り組むという意思表示をするべきでは。

答 多くの人が性的指向、性自認について正しく理解し、多様な性の在り方を認める社会づくりのため、宣言も含めて検討し、自治体としてできることを行っていくたい。

村田敦子 議員



国民健康保険

問 国保料は所得の10

%超と負担が大きいのに、支払いができれば資格証明書が交付され、受診抑制を招く命に関わる制裁はやめて、せめて短期証にできないのか。

答 資格証明書で医療機関を受診すると、全額を一旦自己負担することになるので、医療機関の受診遅れにつながるという指摘がある。

医療機関を受診したいという相談があった方には窓口で事情をお伺いした上で、どうしても払えない事情があれば、短期証を発行している。

問 子どもを増やすには、子どもの数だけ保

険料が増える均等割をなくし、国保料の軽減を図れ。

答 国保について仮に市独自で減免をした場合、市の負担がかなり発生してくる。市としては、これまでも市長会を通して要望しているが、市単独よりは国の政策として、今後とも要望していききたいと思う。

就学援助にタブレット
学習負担分も

問 来年度より始まる、一人一台のタブレットを使った学習やオンライン学習には家庭の理解も必要。家庭の資力格差が子どもたちの学びに影を落とさないように、経済的支援も視野に入れた環境整備を求める。

契約期間をどう定めるのか、またデータ使用量の上限をどのラインで定めるかなど、予測が大変難しい課題もある。受益者負担の観点から保護者負担とする考えと、教育の機会均等や保護者負担軽減の観点から市負担とする考えと両面から、他市の状況も踏まえながら慎重に検討している。

答 インターネットの通信費は、契約期間や月に使用できるデータ使用量によって金額にかなり幅があるため、

タブレットの使用量によって金額にかなり幅があるため、

西川 潔 議員



国分川以北の振興と生活環境

問 平成30年に開発許可の一部が移譲されたが、人口減少対策に調整区域のさらなる規制緩和について聞く。

答 宅地、雑種地の活用がどこまで進んでいるのか、もっと活用を進める方が何か考えられないか、そういった状況を把握して、どのような規制の緩和ができるのか考えてみたいと思っています。

問 上倉・瓶岩地区の住民が安心して生活できる取組は。

答 市道、林道の改良、飲料水供給施設の整備や更新などを行い、移動手段については、デ

マンド型乗合タクシーを導入して、生活の足として利用いただいている。空き家を活用した移住者等の受入れにも取り組んでいるが、

他地区と比較しても高齢化が顕著で、今後ますます地域コミュニティの維持が難しくなることが見込まれるので、地域の声も聞きながら対応していきたいと考えている。

問 奈路地区の水道布設の進捗状況を聞く。

答 現況の供給施設で不足する機能があれば、別の機能を追加することも考えられる。また、新たな水源地の研究も、経費の比較ができるように整理している。住民への説明資料ができれば、地域へ提案して検討いただくよう準備をしている。

問 集落土木委員の仕事の見直しを

可関係では、住民や申請者に多大な迷惑、心配を与えた。市の反省点を問う。

答 行政内部で排水や企業情報の共有不足と、開発者が地域住民への説明を行った内容やこの地区で行ったかの確認が、行政側で十分できていなかったこと

にあったと思う。

問 土木委員の意見具申を基に市が責任を持つべきでは。

答 排水に関する意見書はあくまでも地元に対して意見を求めているのであって、最終の決定については市が責任を負うものだと思う。

問 土木委員の仕事を見直すべきではないか。

答 排水の同意については、周りの土木委員の方々とも調整を取るようにしたい。

今西忠良 議員



シニア世代の移住促進策

問 高齢社会が進み、人口減少に歯止めがからない。今後新しい生活様式の実践が求められる。これまでの働き方、暮らし方が見直され、地方暮らしに関心が高まっている。移住促進に向けての受皿づくりと諸施策の展開を問う。

答 移住促進については、これまで空き家調査の実施で把握した空き家の活用や発信を強めるための移住専用ポータルサイトの整備、また都市部で開催される移住相談会への参加などの取組を進めてきた。本市への転入、転出の状況を見ると、近

年は子育て世代の転入超過が続いているが、60歳前後の転入も継続してみられる。

本市出身者がUターンで南国市に戻ってこられ、地域の役員として活躍されている例もある。市にとっても大変心強いことで、このような方を多く迎えることができるよう、またJターン、Iターンによるシニア世代の移住も含めて外部への発信にも努めていきたいと思う。

学校給食の残食率

問 給食を「賢く食べる」「心で食べる」とし、望ましい食習慣を身につけさせ、子どもの育成を図っている。調査でも食べ残しは一定ある。食べ残しのない適切な指導について問う。

答 中学校では、食べ切れる量に減らしたり、お代わりしたりする、

個人調整を取り入れて食べ残しがないような指導を行っている。

学級担任からも部活動や成長期でしっかり食べることを意識するよう声かけを行っており、食べ残しが減った学級もあると聞いている。献立作成の際には、主食や副食の栄養バランス、メニュー構成にも気を配り創意工夫に努めている。

また、昨年度から小学校に配置している栄養教諭、学校栄養職員が中学校へ給食指導に訪問できる体制を整えた。食べ残しをほとんどせず小学校を卒業した生徒が、中学校になると食べ残しが増える実態を少しでも改善できるように取り組んでいる。

丁野美香 議員



産後ケアについて

問 産後ケア事業の訪問型や宿泊型の支援について利用状況を聞く。

答 訪問型の令和元年度の利用者の実人数は24人、延べ人数は48人。宿泊型の令和元年度の利用者はなく、令和2年度は10月末現在で2人である。

問 一、二回の訪問では母親の悩みは解決できないのではないか。もっと継続できないか。

答 訪問した助産師からは、カルテの提出や申し送りを受けているので、悩みが続くようなら、悩みの内容によって市の助産師や保健師が訪問を継続するようになっている。

問 宿泊型の場所は部

屋数が少ないと聞く。保健センターへ朝に来て夕方に帰るようなデイサービス型をつくってはどうか。

答 保健福祉センターでは、子育て支援センターひよこルームで、保育士を配置して子供と一緒に遊べる場を提供している。ここでは保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士などの専門職が個別の育児相談も行っているので、子育て支援センターを利用していただきたい。



避難誘導について

問 西日本豪雨を踏まえた対策として、岡山

県美作市で消防署員対象の手話講習会が開催

された。南国市でも手話講習会を開催してはどうか。

答 全国の消防本部において手話講習会が開催されている。南国市でも、平成16年に消防職員が講習会に参加している。その当時から時間も経過しているので、若い職員を中心に手話研修を実施していきたい。

問 絵文字や絵単語などのイラストを使った、誰が見ても分かる災害対応ピクトグラムの活用について問う。

答 災害時に要配慮者に対しては、ジェスチャー、文字だけでは十分ではないと考えている。災害ピクトグラムは、全国で68の消防本部が導入しており、先進地の活用状況及びその効果について研究したい。

山中良成 議員



圃場整備の発掘調査

問 圃場整備実施地域は試掘調査で遺跡が発見された場合、工事に先立ち発掘調査を行う。現在の試掘の進捗状況及び今後の計画を問う。

答 市内15団地のうち試掘調査が終わっているのは8団地である。本年度、調査を行ったのは3団地だが、国府

は令和3年度も調査が必要となっている。令和3年度以降は5団地で調査を行う予定だ。

問 試掘調査はいつ終了予定か。

答 令和4年度に終了したいと考えている。

問 現在の本発掘調査の進捗状況は。

答 本年度から、早い団地で測量及び詳細な

設計に着手したところで、詳細な設計が決まってから発掘調査に取りかかる予定だ。

問 発掘調査の予測期間を問う。

答 工事完了予定から逆算すると、事業完了予定年度の2、3年前までは発掘調査を完了しておかなければならないと考えている。

圃場整備との整合性

問 試掘や本発掘の日程等も不透明で計画もできずに事業は完了するのか。

答 国、県とは情報共有を図りながら圃場整備事業実施に向け準備を進めてきた。発掘調査は、工事実施により埋蔵文化財に影響を及ぼす範囲は必ず行わなければならない、事業を進めていく上でクリアすべき課題として認識している。

問 本市は歴史が深く事業前に調査を行うべ

きだが見解を聞く。

答 試掘調査は平成29年度から行っている。事業区域を定める見通しが立った時期がその頃なので、調査の開始時期としては適当だったと考えている。

問 発掘調査方針を問う。

答 複数の事業の中で、圃場整備事業に伴う調査に最も時間を要すると考えている。事業それぞれのスケジュールに合わせて調整を図り、調査を進めていきたい。

問 この事業は本市のマスタープランと整合性が取れないのでは。

答 都市計画マスタープランの土地利用の方針として圃場整備事業が前提にあり、圃場整備事業の区域を除く区域内に各都市機能の集積を図っていくことが定められているので、整合性は十分取れていると考えている。

植田 豊 議員



応急仮設住宅
(ムービングハウス)

は仮設住宅の建設用地が充足できていないので、引き続き用地の確保に向け取組を進めていく。

他部署での用地取得、

例えば施設の駐車場用地等を取寄せた際などには、その用地を災害時の仮設住宅用地として活用できるよう関係課と連携するなど、効率的な用地確保に努める。

消防行政

問 災害で住宅を失った人が生活する応急仮設住宅の重要性が高まる中、高知県は昨年 8 月、都道府県で初めて日本ムービングハウス協会と協定を締結した。設置場所の確保は必須だが、南国市の対応を問う。

問 土砂災害発生時には、救助・復旧作業する方が 2 次災害に遭う危険性が高い。危険を察知して安全策がとれる「移動式の傾斜警報監視システム」の導入を求める。

答 ムービングハウスは、高知県が迅速な仮設住宅の建設、提供を目指して、日本ムービングハウス協会と協定したもので、本市としても大変心強いことと評価をしている。

答 傾斜警報監視システムは、危険が高い箇所に複数のセンサーを設置し、土砂等の傾きを予兆すると警報を発する装置で、土砂災害現場で活動している署

浜田憲雄 議員



スポーツツーリズム

問 市のスポーツツーリズムの取組を問う。

答 市におけるスポーツツーリズムに関するものは、高知龍馬マラソンへの協力や、スポーツ施設の使用料において減免の規定が設けられているなど、限定的なものとなっている。

問 県サッカー協会から提出されたフットボールセンター整備要望とその対応を問う。

答 要望は、市立スポーツセンターグラウンドへの人工芝敷設及び照明の LED 化、吾岡山文化の森スポーツ広場への天然芝の改修やスポーツハウスの改修等であり、現在、インシャルコスト、ランニ

ングコスト、また他団体の意向確認調査などを行っている。施設整備による効果を総合的に勘案して判断していきたい。

問 吾岡山文化の森スポーツハウスの管理と使用状況を問う。

答 吾岡山文化の森スポーツハウスは指定管理施設であり、予約受付管理等は NPO 法人まほろばクラブ南国に委託している。使用実績については昨年度は上がってきていない。

防災・減災対策

問 コロナ禍での県下一斉避難訓練の実施状況と評価は。

答 本年度は現時点で 45 組織からの訓練報告があり、避難訓練後に洪水ハザードマップの学習会を開催したり、コロナの感染予防を考慮し、自宅での非常持ち出し袋の確認など、コロナ禍の中でも工夫

を凝らして実施していただいた。工夫を重ねて継続することが重要で、各地域の自主防災会に敬意を表したい。

問 指定避難所の備蓄品(コロナ対策備品、初動対応備蓄品、要配慮者備蓄品、災害対策用医療品等)の備蓄計画を問う。

答 備蓄計画については、県と県内市町村により公的備蓄検討会を立ち上げ、最低限備蓄すべき品目、数量等を再検討している。これに基づき本市の備蓄計画も改正を行い、さらなる備蓄を進めていく。

問 災害時の浄水装置の配備状況と今後の配備計画を問う。

答 災害時の水の浄化装置は、奈路防災コミュニティセンターと立田備蓄倉庫に備蓄している。他の地域についても運用方法を整理し、整備について検討していく。

福田佐和子 議員



コロナ対応は

市民の命を第一に

問 徹底した感染予防

対策と、感染しても安心して治療できる体制の準備、休業や離職による生活苦を支援するなど、市民一人一人に寄り添った施策を実施するよう強く求める。県は「特別警戒」に引き上げたが、市のコロナ対策の状況を聞く。

答 高知県の感染拡大

が治まる兆しのないことから、高知県の対策本部では、感染対策の目安を上から2番目の特別警戒ステージに引き上げた。それを踏まえて、本市においても、第23回の対策本部会議を開催する予定としており、市民への啓発を

含めた感染対策の強化、イベントの開催等の検討をしたいと考えている。

教育行政について

問 いじめ件数が最多

になった。いじめや不登校への人的配置の予算を要求し、新年度予算に計上されたのか。

答 本年度、県教育委員

会から大篠小学校と香長中学校に、不登校対応の業務を主とする加配教員の配置をいただいた。成果も現れており、引き続き他の学校にも拡充していただくように要望していきたい。

また、いじめ防止対

策の加配教員の配置を要望し、支援員についても人員確保に努めるよう、来年度予算に計上する準備をしている。

問 20人学級の進捗状

況を問う。

態やニーズに応じた加配教員を含めた教員の増員について、引き続き県教育委員会に要望していきたい。

問 小学校給食は大切

な市の施策。地産地消とともに給食室の要望にもしっかりと応えられるように予算化を。

答 南国市安全衛生委

員会にも、各調理場から施設の安全管理、衛生管理の要望が上がっている。来年度は、これまで夏場の調理に不便をかけていた後免野田小学校と三和小学校の調理場にエアコン設置を行う。

また、要望の多かった

手洗い施設の改修とトイレの洋式化も、来年度予算に計上するよう準備を進めており、年次計画を立てて取り組んでいきたいと考えている。

浜田和子 議員



災害対応

問 避難所におけるマ

ンホールトイレは総合計画に位置付けられたが、その進捗は。

答 避難所におけるマ

ンホールトイレの整備は、大篠小と十市小に整備できるように計画を進めている。

問 国がマンホールト

イレの整備の検討を求める通知を出している。

補助制度を早く選択し、

来年度中に国の承認を得られるような取組を求める。

答 国の交付金、県の

補助金など、活用できる制度が増えてきたので、事業内容の確認を行い、どの補助制度を活用すればより有利なのかを協議しながら、

事業申請に向けて取組を進めていく。

問 非常用飲料水袋の全戸配布を求める。

答 現在、約8千袋を

備蓄しており、耐用年数は10年となっている。購入から年数もたっているため、劣化のため使用できないことも予測される。既に備蓄している全数を一齐に交換しなくてもいいように、今後、一定数の入替えを進め、それが使用可能である場合には、各地域の自主防災会等に配布するように検討していく。

開発許可制度の波及

問 (仮称)日章工業団

地の企業誘致は人口増につながる。公募審査時のポイントとして、社員の転入も重視してはどうか。

答 誘致企業において、

既に雇用している従業員の居住地を南国市内に限定することを条件

とするのは難しいと思うが、雇用効果は一定考慮することになるとは考えている。誘致企業に対しては、企業奨励金制度の中に市内の方の雇用をすれば支援を行う制度があるので、こういった制度を周知し、活用していただくことで地元の雇用を促していきたい。

問 新立地基準に基づ

き大規模指定集落を位置付けた。開発許可基準の運用は、L2の避難体構築の上でL1のまちづくりを求める。

答 本市としては、市

街化調整区域の浸水ハザードエリア等における住宅等の開発許可の厳格化により、地域コミュニティ機能の維持にできるだけ影響が出ないように、高知広域の4市町で足並みをそろえて対応策に取り組んでいきたいと考えている。

杉本 理 議員



市長の政治姿勢

問 学術会議任命拒否

問題やコロナ対策など、菅新内閣を評価できない点が多い。市長は、菅内閣についてどのよう

に評価しているのか。また、新政権にはどのような要望があるのか。

答 菅内閣発足から2か月半で、まだ現時点での評価は難しいところだが、国民のために働く内閣としてしっかりと政策を実現していただき、地方の成長にもつながる取組を期待している。

一方で、新型コロナウイルス感染が再び拡大している状況にあるので、感染対策と経済の両立は非常に難しい課題ではあるが、地方

の実情も見極めた上で、雇用維持、医療機関の体制の整備、そして検査の拡充などに継続して取り組み、国民の不安を解消していただきたいと思う。

青年・学生への

つなげる支援を

問 高知高専・高知大学の学生に対し、どのような広報活動に取り組んでいるのか。

答 現在、市ホームページに個人向け、事業者向けの支援策をまとめて掲載しているが、学生に特化した支援策は現時点ではないので、掲載できていない。学生支援緊急給付金のよ

うな制度が改めて創設されれば、支援策一覧に加えて情報提供していきたい。

問 学生の実状をどのように認識しているか。

答 高知高専では、困窮状態にある学生は少ないが、一部は文部科

学省の学生支援緊急給付金を受けたと聞いている。

高知大学では、学生生活の実態調査の中で仕送りやアルバイト収入が減ったなどの実態が明らかとなっている。

問 本市の支援状況を聞く。また、さらなる支援はできないものか。

答 大学を通じて災害用備蓄食料のレトルト食品を中心に約千食分を支援した。

地方創生臨時交付金を財源とした給付金事業は既に終了しており、新たな財源確保が伴うことから、同様の給付金は現時点では難しいと考えている。今後は、高知高専や高知大学と連絡を取り合い、学生の状況を把握して、食料支援などのできる支援を考えていきたい。

前田学浩 議員



環境行政について

問 焼却炉が新しくなったが、いつまでもプラスチックの分別が必

要か。

答 汚れているプラスチックごみは可燃ごみとして焼却するが、新たなプラスチックごみの焼却は発熱量の増加となり、焼却炉の耐用年数が短くなることが予想されるため、現在の分別でお願いしたい。

問 ヤスデが異常発生し市民が困窮している。対処方法を広報することを求める。

答 対処方法として、ヤスデは落ち葉などの下にいることが多いので、小まめに清掃したり、家屋に侵入しないように駆除剤を使用す

ることなどがある。今後は広報等に対処方法をお知らせしたい。

問 ごみ袋が清掃組合内の2市に比べ高すぎる。是正を新年度に求めたい。

答 まほろばクリーンセンターの償還額の増加により、ごみ処理経費が増大しているの

で、値下げできる状況でないことを理解願いたい。価格の違いについては、香南清掃組合と3市で組織している連絡協議会で、中・長期的な議題として検討を進めている。

避難所整備について

問 南海トラフ地震・

物部川の氾濫などで県内でも最大規模の長期浸水が予想されている稲生地区の避難所整備が遅れている。「対策委員会」を設立する予定だったが、進捗と今後の予定を聞く。

答 国土強靱化地域計

画の策定に取り組んでおり、津波による浸水想定や洪水浸水想定など、厳しい想定が示されている稲生地区の状況も踏まえ、本計画策定後には関係事業計画等の見直しに入るようにする。

問 浸水地域の稲生ふれあい館と稲生保育園の対策は。

答 稲生ふれあい館は、仮に避難所を新設する場合に公民館機能も併せるなら、補助金のメニューを探っていく。避難所と公民館を別々にするならば、今の施設の長寿命化を図ることになる。

稲生保育園の移転は、9月に保護者会役員に移転を検討していることを伝え、地域の方々には11月に稲生ふれあい館での催しの際に、移転を検討していることを伝えている。

土居篤男 議員



コロナ不況対策

問 コロナによる不況で経営が苦しくなった結果、従業員やアルバイトの解雇が生じている。特に大学生はアルバイトの失職で食費すら困窮しかねない。実態を調べて、経営者や失職者への支援を抜かりなくせよ。

答 失業された方への救済については、南国市社会福祉協議会において、感染症の影響による休業や失業等により生活資金でお困りの方に緊急小口資金や総合支援資金などを特例貸付けしている。これらの貸付けは3月末まで延長となっている。学生への支援は、9月に高知大学物部キャンパスの学生にレトルト食品を中心に約千食分を支援した。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが見込まれるので、学生の置かれている状況を把握した上で、学生に対する支援制度生のお知らせ、食料支援など、市としてできる支援策を考えていきたい。

ものづくり

サポートセンター

問 市内には、古くは協和農機、スズエ農機、現在でも垣内やミロク製作所など優秀な物づくりの企業は多いが、ものづくりサポートセンターは、活動内容・目標が具体的にイメージできない。市民が具体的にイメージできるものを示すべきだ。

答 南国市には特徴のあるすばらしい製造業の企業、また物づくりに関わる人物がたくさんおり、企業の幾つか

に相談もして協力いただきながら現在準備を進めている。

物づくりに関する映像や展示、実演、また短時間で行える体験メニューから、一定期間をかけて子供たちの習熟度に合わせてステップアップを図れるような物づくりのプログラムなどが実践できるように準備しているところだ。その中で南国市の優れた物づくり企業を知ってもらうための取組も行う。

長いスパンでの目標にはなるが、こういった活動を通して南国市のすばらしい物づくりを知り、愛着、誇りを持ち、将来南国市で物づくりをする、物づくりの企業へ就職する子供たちを育てていければと考えている。

議会日誌

12 月	11 月	10 月
3、9、14、17日 ・議会運営委員会 4、17日・第419回市議会定例会 17日・議会だより編集委員会	2日・市政連絡会 4日・災害対策調査特別委員会 24日・議会運営委員会 ・第418回市議会臨時会 ・議員総会 27日・議員行政実務研修（高知市） 30日・市政連絡会	2日・総務常任委員会 5日・市政連絡会 13日・議会だより編集委員会 15日・産業建設常任委員会 16日・教育民生常任委員会 20日・西島園芸団地調査特別委員会 22日・トップセミナー（高知市）

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長（議長は賛否に加わりません） 欠…欠席

議員名	杉本	丁野	西山	神崎	植田	西本	浜田	山中	岩松	西川	土居	有沢	中山	前田	村田	岡崎	野村	浜田	土居	福田	今西	結果
議案番号	理	美香	明彦	隆代	豊	良平	憲雄	良成	永治	潔	恒夫	芳郎	研心	学浩	敦子	純男	新作	和子	篤男	佐和子	忠良	
11月議案1号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	欠	○	○	×	×	×	可決
継続議案1号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	×	×	○	認定
議発5号	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	一	×	○	×	○	欠	×	×	○	○	○	否決
議発6号	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	一	×	○	×	○	欠	×	×	○	○	○	否決

議 決 結 果 一 覧 (11月臨時会・12月定例会)

■11月臨時会 (11/24)

◆議 案

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 賛成多数で可決 |
| 2号・市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 3号・市長等に対する給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 4号・児童生徒教師用パソコン購入契約の変更について | 全会一致で可決 |
| 5号・調停の申立てについて | 全会一致で可決 |

◆報 告

- | | |
|---------------------|-----|
| 1号・損害賠償の専決処分の報告について | 報 告 |
|---------------------|-----|

■12月定例会 (12/4～17)

《令和元年度決算》(9月議会継続審査分)

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1号・一般会計歳入歳出決算 | 賛成多数で認定 |
| 2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 3号・土地取得事業特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 4号・算農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 5号・国民健康保険特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 6号・介護保険特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 7号・企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 8号・後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算 | 全会一致で認定 |
| 9号・水道事業会計決算の認定について | 全会一致で認定 |
| 10号・下水道事業会計決算の認定について | 全会一致で認定 |

《令和2年度補正予算》

- | | |
|------------------------|---------|
| 1号・一般会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 3号・農業集落排水事業特別会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 4号・国民健康保険特別会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 5号・介護保険特別会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 6号・企業団地造成事業特別会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 7号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算 | 全会一致で可決 |
| 8号・水道事業会計補正予算(第1号) | 全会一致で可決 |
| 9号・下水道事業会計補正予算(第1号) | 全会一致で可決 |

《その他》

- | | |
|--|---------|
| 10号・指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 11号・市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 12号・公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 13号・新規就農者等サポートハウス減額貸付条例 | 全会一致で可決 |
| 14号・高知南国地区国営緊急農地再編整備事業基金条例 | 全会一致で可決 |
| 15号・火災予防条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 16号・税条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 17号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 18号・地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 | 全会一致で可決 |
| 19号・職員定数条例の一部を改正する条例 | 全会一致で可決 |
| 20号・行政不服審査会条例を廃止する条例 | 全会一致で可決 |
| 21号・行政不服審査法第81条第1項の機関の事務の委託について | 全会一致で可決 |
| 22号・(仮称)南国日章工業団地の共同開発に係る団地整備業務(その2)委託契約の変更について | 全会一致で可決 |
| 23号・債権の放棄について | 全会一致で可決 |
| 24号・人権擁護委員の推薦について | 全会一致で同意 |

◆報 告

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1号・市営住宅明渡等請求訴訟の提起の専決処分の報告について | 報 告 |
| 2号・市営住宅明渡等請求訴訟の提起の専決処分の報告について | 報 告 |

◆議員提出議案

- | | |
|--|---------|
| 1号・介護報酬の引上げ、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険制度の抜本改善
を求める意見書(村田敦子議員ほか18名) | 全会一致で可決 |
| 2号・不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書(浜田和子議員ほか18名) | 全会一致で可決 |
| 3号・住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書(神崎隆代議員ほか18名) | 全会一致で可決 |
| 4号・国の「持続化給付金」の制度継続を求める意見書(福田佐和子議員ほか18名) | 全会一致で可決 |
| 5号・「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教育の質を保障するために
教職員の長時間過重労働解消を求める意見書(土居篤男議員ほか7名) | 賛成少数で否決 |
| 6号・日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書(杉本理議員ほか7名) | 賛成少数で否決 |



▶保護者が作製したぬいぐるみ



【南国市PRキャラクター「シャモ番長」】

「シャモ番長」は、市の特産品の1つであるシャモをキャラクター化したもので、山田高校が例年実施している「市長へのまちづくりアイデア提言」事業において、平成30年度に南国市在住の山田高校1年生グループの提案で生まれたキャラクターです。

高校生が考えたデザイン（左写真）を基に、市民に幅広く愛されるようにという視点で、県内在住のイラストレーターの「なかうちわか」氏がイラストを作成。

様々な面で市をPRするキャラクターとして活用するため、山田高校生から著作権の譲渡、特許庁への商標登録出願を経て、約1年後には商標登録の見込みで、今後は広報等へ掲載を行いながら、市のPRに幅広く活用される予定です。

なんごく歳時季

巻

14



いろんなポーズの「シャモ番長」

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、開扉した議場で、マスクを着用したままでの発言や、一般質問の途中からは答弁する課長のみのお出向とするなど、万全な対策の中行われた12月議会も無事閉会となりました。

これから迎える年末年始も、コロナの収束へとつなげていくために3密回避や、手洗い、マスク着用などの基本を守りながら、静かに過ごすことになりそうです。この議会だよりがお手元に届く頃には良い兆しが見えていることを願います。

（神崎）

◎市議会だより編集委員会

委員長	福田 佐和子
副委員長	植田 豊
委員	丁野 美香
〃	西山 明彦
〃	神崎 隆代
〃	今西 忠良

◆『市議会だより』についての御意見・御要望がありましたら、お寄せください。

- 12月定例会市議会の会議録は、2月末以降に市ホームページ（<http://www.city.nankoku.lg.jp>）、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。
- 次回の定例会市議会は3月5日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。